

崎村だんじり

10月23日(日)、崎地区にて、4年に一度の「崎村だんじり」が行われました。正式名称は「恵比須祭の風流(ふりゆう)」といい、2000年以上の伝統をもつ町指定の無形民俗文化財です。

朝9時から三穂神社で神事を行った後、漁協前から60人もの担ぎ手がだんじりを担いで出発。子ども4人を載せ、担い棒も合わせて重量約300kgもあるだんじりを激しく振り動かしながら、中良公園を回って三穂神社へと力強く練り歩きました。今年は若い担ぎ手が増えたこともあってダイナミックな動きが際立ち、観客からは盛んに歓声が上がっていました。



神社への急な石段を上り切った境内に到着すると、紙の花飾りがついた椎の枝を手折って皆が両手に持ち、「ハライツチャ」を踊りながら再び中良公園へ。盛大な餅投げ、そして記念撮影を行って、笑顔のファイナルです。挨拶では、崎村だんじりの精神的支柱であり長年唄い手を務めてきた滝中茂さんから、「島の南端であるこの崎に、若いもんが大勢来て何度も何度も練習して今日に至っている。この活気ある海士町には過疎や衰退という言葉あるのみ!そう信じています」という言葉があり、公園は感動の拍手に包まれました。

11月場所

大相撲9月場所 郷土出身力士星取表

《○:勝ち ●:負け ー:取り組みなし》

	初日	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目	中日	9日目	10日目	11日目	12日目	13日目	14日目	千秋楽
海士の島 (八角)	—	○	●	—	○	—	—	○	—	●	○	—	—	○	—
海士錦 (八角)	○	—	—	●	●	—	—	●	—	●	—	○	●	—	—

成績:【海士の島】5勝2敗(三段目東57枚目) 【海士錦】2勝5敗(三段目西95枚目)

11月13日(日)〜27日(日) 於 福岡国際センター
 三段目 東27枚目 海士の島(八角部屋)
 序二段 東30枚目 海士錦(八角部屋)

(相撲ウォッチャーNGSX)

横綱白鵬が横綱になって初めて全休した大相撲9月場所。序盤から上位陣が崩れる中、ただ一人全勝を守り続けた力ド番の大関豪栄道が、日本出身力士としては今年初場所の琴奨菊以来、全勝では平成8年当時の横綱貴乃花以来20年ぶりに、賜杯を手にしました。

海士出身の兄弟力士、海士の島と海士錦は、それぞれ三段目上位と下位に番付を下げての場所でした。海士の島は安定した相撲で中盤までに3勝を挙げ、終盤も対戦成績で分の良い相手に2勝し、九州場所以降の幕下昇進が見える位置へ番付を戻します。一方、海士錦は初日白星だったものの、以降は4連敗を喫するなど2勝5敗で3場所連続の負け越しとなり、来場所は序二段転落となります。

どちらも幕下昇進が見えながらの足踏みですが、経験と稽古を積むことで乗り越えられる壁のはず。諦めることなく上を目指し続けることを期待しています。

大相撲!





わははと笑って健康に♪

健康福祉フェア

10月16日(日)、保健福祉センターひまわりにて、海士町健康づくり推進協議会(扇谷光恵会長)が主催する町民健康福祉フェアが開催されました。

今年の講演会は、日本でただ一人の《医師免許を持つ真打ちの落語家》、春雨や落雷師匠による「お達者落語会」です。

第一部では古典落語の秋の定番「目黒のさんま」を披露し、第二部は医学博士の安部正之先生として登場。「笑って免疫力を高め、病気に打ち勝ちましょう」と、笑いの不思議な力について面白く、かつ分かりやすく伝えました。

次に、「わが家の一流シェフ in 隠岐料理コンクール」の表彰式があり、モロヘイヤとこじょうゆ味噌を混ぜたソースが独創的な『ネバオムレット ネバソースかけ』という作品で優秀賞に選ばれた亀谷和奏さん(海士中1年)など、入賞者が表彰されました。

今年の郷土料理試食コーナーは、バイキング形式ではなく弁当スタイルで、そうめんを栗のイガに見立てた「いが栗揚げ」やアラメの炒り煮、海土産ブドウを使ったゼリーなど手の込んだお惣菜が詰め込まれた特製弁当に大満足のランチタイムとなりました。

午後は骨密度測定などの健康チェックや、スポーツ吹き矢の体験コーナーが登場。屋外では第29回歩こう大会が開催され、参加者らは小雨のなか元気にウォーキングを楽しみました。



どすこい
ちびっこ
相撲!

2016年 10/14(金)